

宇都宮製作所

(2013年3月31日現在)

本工場

所在地	〒320-8564 栃木県宇都宮市陽南1-1-11
土地面積	337,457㎡
建物面積	176,807㎡
従業員数	1,790人
主な生産品目	航空機



南工場

所在地	〒321-0106 栃木県宇都宮市上横田1418
主な生産品目	航空機



南第二工場

所在地	〒321-0131 栃木県宇都宮市宮の内2-810-4
主な生産品目	航空機



半田工場

所在地	〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-27
土地面積	49,041㎡
建物面積	13,854㎡
従業員数	288人
主な生産品目	航空機



半田西工場

所在地	〒475-0804 愛知県半田市上浜町102
土地面積	41,977㎡
建物面積	13,809㎡
従業員数	41人
主な生産品目	航空機



トップメッセージ



専務執行役員
宇都宮製作所長
永野 尚

宇都宮製作所では、経営ビジョンである「存在感と魅力ある企業」を目指し、「お客様第一」を基軸とし、環境への配慮、社会への貢献、コンプライアンスの徹底などに積極的に取り組み、皆さまから信頼される企業を目指して持続的な社会発展へ貢献するとともに企業価値の向上を図ってまいります。

これらの実現のため、企業市民として、地球温暖化防止をはじめとする環境への取り組み強化を図ることと併せて、住宅地域と近接して工場があることから「地域に愛される企業」をスローガンに掲げ、コンプライアンスの徹底や交通マナーアップ、苦情への真摯な対応などに注力しています。また製造業の強みを活かし、子どもたちに科学や環境活動について理解を深めてもらう取り組みも継続していきます。

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

宇都宮製作所は、地域社会の一員として地域との共生を図り、共に繁栄していくことを目指し、さまざまなコミュニケーション活動を推進しています。特に製造業の強みを活かし、将来を担う子どもたちへ「環境保全の活動」について、理解を深めてもらう取り組みを長年に行っており実施しています。



【環境出前教室】

宇都宮市内の小学校に従業員が出向き、地球温暖化の仕組みについて説明や実験を実施、環境問題への理解を深めてもらう活動を行っています。主に小学校5年生を対象に、2006年度から開始し、2012年度は48クラス(1,483名)を実施しました。(累計で220クラス、7,031名)



【科学体験バスツアー】

宇都宮市主催による、市内の小学校・中学校の生徒・保護者を対象とした工場見学会を実施しました。次世代を担う小・中学生に、ものづくりや科学への関心を高めてもらうことを目的に、2007年から子どもたちの夏休み期間に合わせて実施しており、今年度は約90名が参加。質疑も多数寄せられ、航空機への関心の高さを感じることができました。



【半田市セカンドライフ フェスティバル】

半田市主催セカンドライフ フェスティバル(会場:さくら小学校)にて、『飛行機の飛ぶ仕組みって!』のタイトルで出前授業を実施しました。座学、揚力の実験や複合材料の軽さ、強さを体験していただきました。今後の半田地区での本格的な出前教育実施への第一歩となる試みとなりました。



【ふれあい祭】

10月、工場を開放して「ふれあい祭り」を開催しました。あいにくの雨にもかかわらず、約4,000人に参加いただき、地域の皆様との交流を深めることができました。この中で、宇都宮製作所のCSR・環境活動を紹介するとともに、県緑化推進委員会のご協力のもと、ゆきやなぎの苗木とハーブの種を配付し、緑の環を広げる活動を推進しました。



【盆踊り】

8月、「納涼盆踊り大会」が、地域自治会・婦人会・子供会、協力企業の皆様など約3,000人の参加を得て、盛大に行われました。盆踊りは1984年から実施しており、地域貢献の大きな行事となっています。



【JAPAN CUPサイクルロードレース】

10月、宇都宮市が主催するアジア最高峰の自転車レース「JAPAN CUP」が開催されました。この大会は自転車の街・宇都宮を広くアピールするイベントで、二日間で約116,000人の観客が県内外から集まりました。当社は冠スポンサーとして平成2年より継続して協賛し、チームサポートカーとしてレガシイ他を提供しています。

教育・啓蒙活動、交通安全活動、その他

宇都宮製作所では、CSR活動を推進するために、人事階層別教育をはじめとしてさまざまな機会をとらえて従業員に対し、交通安全や環境活動促進など、啓蒙活動の取り組みを積極的に実施しています。



【交通安全活動 反射材貼り付け】

9月、宇都宮南地区安全運転管理者協議会の会長会社として、宇都宮南警察署の協力をいただきながら、「夜間における交通事故防止用の反射材を電柱に貼付する活動」を展開し、地域の交通安全の取り組みに貢献しました。この活動は、2008年以降、春と秋の交通安全運動期間中に重点地域を決めて実施しています。



【交通指導】

従業員の交通マナー向上活動の一環として、通勤時間帯に製作所周辺の道路で交通安全指導を実施しました。製作所周辺は通学路が多いため、新入生が通い始める4月と、夏休み明けで緊張が緩みやすい9月の年2回実施しています。



【ISO14001更新審査受審】

12月、外部審査機関によるISO14001更新審査を受審しました。審査では、各部署が日頃の活動成果を説明、認証の継続が認められました。審査員からは、「業務と環境活動が融合され環境リスクの低減が進んでいる」とのコメントをいただきました。



【クリーンキャンペーン】

6月、従業員約400名が宇都宮製作所周辺の東武鉄道南宇都宮駅や宮原球場など7コースに分かれ、ごみ拾いや草むしり作業を行いました。この活動は、22年目を迎えますが、今後も地域の美化活動に取り組み、継続していきます。



【緑の募金】

11月、製作所内で働く全員で集めた募金を、栃木県・愛知県の緑化推進委員会に寄付しました。2000年より始めた本活動は今年で13回目を迎え、2007年度の農林庁長官賞に続き、2011年度には2度目となる緑化推進委員会理事長賞も受賞しました。これまでの累計募金額は449万円となっています。



【献血】

宇都宮では毎年2回、半田地区では毎年1回献血を実施しています。今年は約350名の参加がありました。社会貢献の一環として、献血を通して一人でも多くの方々の役に立つことを願い、これからもより一層の献血活動の推進に努めます。

環境保全の取り組み

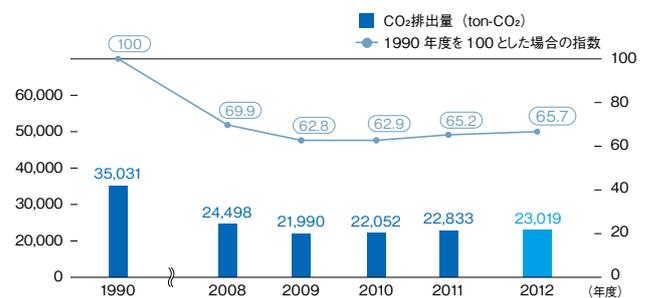
私たちは、自動車をはじめとする輸送機器メーカーとして、「地球環境問題への対応は経営における重要課題」と認識し、環境保全の取り組みを進めています。

地球温暖化防止への取り組み

2012年度の夏季は、政府のピーク電力削減要請に対して、エアコンの輪番停止、各職場での設備・照明等のムダなエネルギー使用の撲滅と合わせて、半田地区でもデマンドコントロール設備を新設して、全工場で工場ごとに使用する電力を常時モニターし、使用量が増加した際、事務所エアコンの一斉停止を自動放送するなどの細かな管理により、2010年度比10%のピーク電力を削減することができました。

2012年度のCO₂排出量は、23,019 ton-CO₂で、1990年度比34.3%になりました。今後も省エネルギー活動に取り組み、地球温暖化防止に貢献していきます。

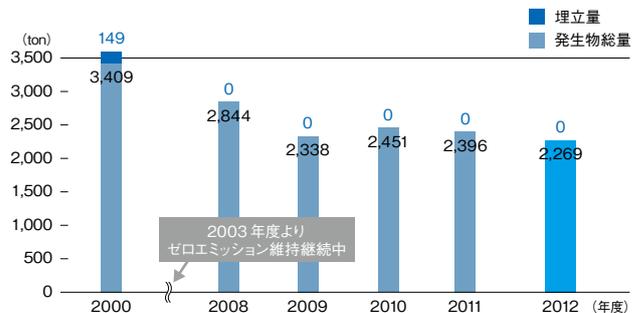
CO₂排出量推移



ゼロエミッションへの取り組み

2012年度の廃棄物排出量は2,269トンでした。埋立量は0トンで、2003年度以降ゼロエミッションを継続しています。今後も、リサイクルの向上と廃棄物排出量の削減に向け努力していきます。

廃棄物発生総量と埋立処分の推移



公害防止への取り組み

地域社会との共生や緑豊かな自然環境を維持していくため、排出ガスや排水の管理、環境リスク低減などに取り組み、環境事故や公害の発生を防止するための活動を推進しています。

南工場のヘリコプターの地上運転においては、近隣住宅への騒音の軽減を考慮し、敷地境界から可能な限り遠いエプロンで運転しています。

構外・構内環境事故及び環境苦情とも、上記取り組みの実施により、2010年度以降発生しておりません。

今後も、自主基準値の達成、構外・構内環境事故及び苦情“ゼロ”を目標に取り組んでいきます。

2012年度の環境関連測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁防止法および各地域ごとに適用される条例等（宇都宮市下水道条例、半田市環境保全協定等）に適合しており、20%上乗せした自主基準値^{*1}もクリアしています。

^{*1} 当社では大気・水質・騒音振動すべての測定結果について、法令基準値に20%上乗せした自主基準値を設定しています。

水質測定結果

測定結果は、すべて水質汚濁法、下水道法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

■ 本工場：宇都宮市公共下水道

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.7	5.9	6.8
SS	600	480	229	1.0未満	115
BOD	600	480	449	0.7	224.9
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.0未満	1.0未満	1.0未満
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	19.8	1.0未満	10.4
フッ素化合物	8	6.4	0.8	0.2未満	0.5
カドミウム	0.1	0.08	0.053	0.005未満	0.029
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
総クロム	2	1.6	0.19	0.01未満	0.1
六価クロム	0.1	0.08	0.03	0.02未満	0.02未満

■ 南工場：宇都宮市公共下水道

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.9	6.7	7.3
SS	600	480	104	9.2	56.6
BOD	600	480	185	7.7	96.4
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.0未満	1.0未満	1.0未満
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	17.2	1.0未満	9.1
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
総クロム	2	1.6	0.01未満	0.01未満	0.01未満
六価クロム	0.1	0.08	0.02未満	0.02未満	0.02未満

【記号】… pH：水素イオン濃度、BOD：生物化学的酸素要求量、
SS：水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質
【単位】… pH除きmg/ℓ

■ 南第二工場：宇都宮市公共下水道

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	5~9	5.4~8.6	7.9	6.9	7.4
SS	600	480	118	1.0未満	59.5
BOD	600	480	151	0.5未満	75.8
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	1.0未満	1.0未満	1.0未満
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂)	30	24	5.9	1.0未満	3.5
フッ素化合物	8	6.4	1.5	0.2未満	0.9
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
総クロム	2	1.6	0.59	0.01未満	0.3
六価クロム	0.1	0.08	0.02未満	0.02未満	0.02未満

■ 半田工場：水質汚濁防止法、半田市環境協定

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	6~8	6.2~7.8	7.8	6.6	7.2
SS	25	20	18.0	1.0	9.5
BOD	25	20	11.0	0.7	5.9
COD	25	20	17.0	1.0	9.0
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	5	4	0.5未満	0.5未満	0.5未満
カドミウム	0.1	0.08	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シアン	1	0.8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
総クロム	2	1.6	0.04未満	0.04未満	0.04未満
六価クロム	0.5	0.4	0.04未満	0.04未満	0.04未満

■ 半田西工場：水質汚濁防止法、半田市環境協定

項目	規制値	自主基準値	最大値	最小値	平均値
pH	6~8	6.2~7.8	7.8	7.2	7.5
SS	15	12	8.0	2.0	5.0
BOD	15	12	11.0	3.1	7.1
COD	15	12	8.9	3.9	6.4
n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	2	1.6	0.5未満	0.5未満	0.5未満
カドミウム	0.05	0.04	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シアン	0.5	0.4	0.1未満	0.1未満	0.1未満
総クロム	0.2	0.16	0.04未満	0.04未満	0.04未満
六価クロム	0.3	0.24	0.04未満	0.04未満	0.04未満

大気測定結果

測定結果は、すべて大気汚染防止法に適合しており、20%上乗せした自主基準値もクリアしています。

■ 本工場・南工場・南第二工場：大気汚染防止法

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
コージェネ	NOx	600	480	272	127
乾燥炉	NOx	230	184	100未満	100未満
	ばいじん	0.2	0.16	0.001未満	0.001未満

【単位】NOx：ppm、ばいじん：g/m3N
法規特定施設9機中、コージェネと乾燥炉のデータを掲載しています。

■ 半田西工場：大気汚染防止法、半田市環境協定

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
2トンボイラー	SOx	1.5	1.2	0.002未満	0.002未満
	NOx	180	144	40	36
	ばいじん	0.1	0.08	0.002未満	0.002未満

【単位】SOx：m3N/h、NOx：ppm、ばいじん：g/m3N
法規特定施設3機中、ボイラーデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

■ 半田工場：大気汚染防止法、半田市環境協定

設備	物質	規制値	自主基準値	最大値	平均値
2トンボイラー	SOx	1.5	1.2	0.002未満	0.002未満
	NOx	180	144	39	38
	ばいじん	0.1	0.08	0.002未満	0.002未満

【単位】SOx：m3N/h、NOx：ppm、ばいじん：g/m3N
法規特定施設4機中、ボイラーデータを掲載しています。
掲載していない特定施設についても測定値は自主基準値をクリアしています。

騒音・振動測定結果

測定結果は、すべて騒音・振動規制法に適合しており、自主基準値もクリアしています。

■ 騒音関係：騒音規制法

【単位：dB(A)】

測定場所	規制値(夜間)	自主基準値	測定数	測定値
本工場	60	58	8	51
南工場	50	48	3	35
南第二工場	50	48	3	46
半田工場	65	63	3	55
半田西工場	65	63	6	61

■ 振動関係：振動規制法

【単位：dB(Z)】

測定場所	規制値(夜間)	自主基準値	測定数	測定値
本工場	65	63	8	34
南工場	60	58	2	30未満
南第二工場	60	58	3	30未満
半田工場	70	68	3	30未満
半田西工場	70	68	5	38

【測定結果】<:定量下限値未満を示す

PRTR対象化学物質の取扱量、排出量など

■ 宇都宮製作所[航空宇宙カンパニー]

【単位：kg/年、ダイオキシン類のみ、mg-TEQ/年】

化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量(公共用水)	移動量(下水道)	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
ビスフェノールA	1,801				721	1,080		
エチルベンゼン	108	84			24			
キシレン	3,572	1,858			632	1,082		
六価クロム化合物	2,137			361	640	738	398	
トルエン	20,290	15,812			4,447	30		
マンガン及びその化合物	1,175				470	705		
1,3-ジオキソラン	8,495	6,626			1,869			
合計	37,578	24,381	0	361	8,803	3,635	398	0

■ 宇都宮製作所[エコテクノロジーカンパニー]

【単位：kg/年、ダイオキシン類のみ、mg-TEQ/年】

化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量(公共用水)	移動量(下水道)	移動量	消費量	除去処理量	リサイクル量
エチルベンゼン	4,713	2,866			1,145			702
キシレン	15,336	9,324			3,727			2,285
トルエン	5,633	3,425			1,369			839
合計	25,682	15,615	0	0	6,241	0	0	3,826

*0.5トン/年以上の取扱物質を記載しています。

半田市との環境保全協定を調印

半田市とは、従来公害防止面を中心とする公害防止協定を締結していましたが、2011年2月22日、市要請に基づき、省エネ、廃棄物等の環境面の活動まで拡大した環境保全協定を締結しました。

沿革

1944年1月	中島飛行機(株)宇都宮製作所開設 陸軍機体生産開始
1945年8月	富士産業(株)と改称
1950年7月	宇都宮車輛(株)設立
1953年7月	富士重工業(株)設立
1958年1月	T-1中等練習機、初飛行に成功
1962年3月	ロードバッカー(塵芥収集車・現フジマイティ)の生産開始
1963年8月	UH-1Bタービンヘリコプターを防衛庁に納入
1965年8月	国産軽飛行機FA-200(エアロスバル)初飛行
1978年3月	T-3初等練習機を防衛庁に納入
1984年12月	対戦車ヘリコプター AH-1Sを防衛庁に納入
1988年8月	T-5初等練習機を防衛庁に納入
1992年12月	ボーイング777中央翼組立工場(半田工場)稼働開始
1993年9月	UH-1Jヘリコプターを防衛庁に納入
1999年7月	宇都宮製作所としてISO14001認証を取得
2000年11月	フジマイティ LP0型発売
2002年3月	宇都宮製作所ゼロエミッション達成
2002年6月	カンパニー制度導入 航空宇宙カンパニーとエコテクノロジーカンパニー設立

2002年9月	T-7新初等練習機を防衛庁に納入
2003年	宇都宮製作所ゼロエミッション達成
2005年9月	次期輸送機・固定翼警戒機の主翼を納入
2005年12月	茨城県神栖市に大型風力発電試作機建設
2006年3月	AH-64Dヘリコプターを防衛庁に納入
2007年1月	ボーイング787の中央翼を初出荷
2010年3月	富士重工業(株)としてISO14001統合認証を取得
2010年4月	フジマイティ エレクトラ発売
2012年7月	風力発電システム事業を日立製作所に事業譲渡
2013年1月	環境車輛事業を(株)新明和工業に事業譲渡
2013年3月	エコテクノロジーカンパニーを廃止

主な製品紹介

